

につせきだより 第35号

2009.10

第35号

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

徳島赤十字病院

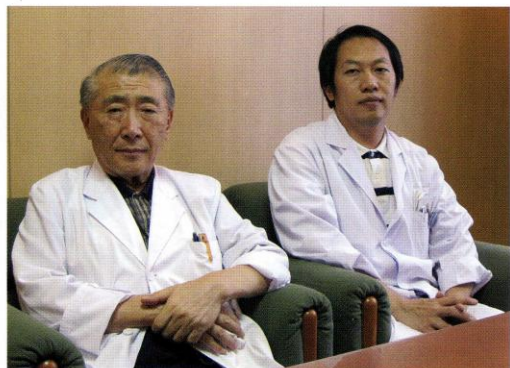
編集発行 広報委員会
〒773-8502 小松島市小松島町字井利ノ口103番地
TEL 0885-32-2555 FAX 0885-32-6350
http://www.tokushima-med.jrc.or.jp

徳島赤十字病院の理念
わたくしたちは
みなさまの健康への途を
全力で支援し、
みなさまの尊厳を
全力でお守りいたします。

歴史ある脇町。病院の
生い立ちは。「成田」の先
祖は江戸期、稲田の家臣で
漢方医だった。その子孫探
中が享保のころ脇町池ノ端
に開業。その後、私の父重
雄の実兄成田
芳夫が西成田
医院を興した
が、戦死した
ため父が跡を
継ぎ、196
5（昭和40）
年に成田医院
とした。戦後
は脇町に医者
が少なく、父
は外科も内科
も産婦人科ほ
か諸々の医療
をしなければ
ならない時代
だった。81（昭
和56）年父の
死後、私が跡
を継いだ。99
（平成11）年
に医療法人藤
野会として拝原に医療療養
型病院「成田病院」を新築
移転。旧病院は成田診療所
として活動している。

連携重ね信頼関係築く

話になって30年を超える。
救急では本当によく助けて
もらっている。一刻を争う
循環器系の患者さんが、お
陰で後遺症もなく元気に
なっていて感謝されている。
晴彦さん 連携の根底に
あるのは信頼関係だ。赤十
字病院の先生には隔週に直
接に診療、検査のご指導を
いただき、患者さんの信頼
を高めて喜ばれている。



「徳島赤十字病院などの応援を得て地域医療を担ってきた」と話す藤野さん父子

ふじの・まさはる氏 1
932年脇町生まれ。外科
医。大阪大学医学部卒。同
大学病院、呉国立病院、大
手前病院、成田病院などを
経て藤野会理事長。
ふじの・はるひこ氏 1
968年脇町生まれ。外科
医。愛媛大学医学部卒、徳
島大学大学院修了。同大学
病院、高松赤十字病院など
を経て成田病院長。

地域連携の実態は。
正晴さん 徳島大学や徳
島赤十字病院の応援を得て
地域医療を担ってきた。こ
とに赤十字病院には、お世

望まれますか。
正晴さん 私どもも緩和
ケアを含めマルチな医療に取
り組んでいるが、高齢化の進
行は早い。山間部も
抱えている。救急へ
りの利用が、救急車
並の簡単な体制で
あるとさらに良い。
晴彦さん 医療
機器を整え、がん
の早期発見に努め
ている。「につせ
きだより」を見て
「徳島赤十字病院」を見て
病院各部のレベル
の高さに感心して
いる。看護師、事
務職、検査、リハ
ビリ士らの現場研
修制度があればあ
りがたい。

成田病院

地域連携病院の紹介 ⑳

医療法人藤野会理事長・藤野正晴さん、
成田病院長・藤野晴彦さん父子に聞く



成田病院＝美馬市脇町字拝
原、電0883（52）1258
日・祭日休診
診療科目は、内科、外科、
小児科、整形外科、呼吸器
科、消化器科、皮膚科、放
射線科、リハビリテーショ
ン科

